

富山県のいま
そして これから

幸せ人口1000万
～ウェルビーイング先進地域、富山～
を目指して

令和８年10月

富山県

目次

1　富山県のすがた

- ◆ 富山県の概要 ・・・ 3
- ◆ 富山県の魅力 ・・・ 4
- ◆ 数字で見る富山県 ・・・ 6
- ◆ 「北陸の十字路」～充実した交通網～ ・・・ 7
- ◆ 「北陸の十字路」～環日本海交流の拠点～ ・・・ 8
- ◆ 富山県の産業 ・・・ 9
- ◆ 産業の集積 ・・・ 10

2　富山県のビジョン

- ◆ 新たな総合計画の策定 ・・・ 13
- ◆ 「ウェルビーイング指標」 ・・・ 15
- ◆ SDGsに関する取組み ・・・ 16
- ◆ 令和6年能登半島地震からの復旧・復興 ・・・ 17

3　富山県の財政状況

- ◆ 令和８年度一般会計予算 ・・・ 19
- ◆ 普通会計決算 ・・・ 21
- ◆ 県税収入 ・・・ 24
- ◆ 県債発行額 ・・・ 25
- ◆ 県債残高 ・・・ 26
- ◆ 基金残高 ・・・ 27
- ◆ 県庁活性化・未来共創の取組み（令和８年度） ・・・ 28
- ◆ 主な財政指標の状況 ・・・ 29
- ◆ 地方公会計に基づく財務諸表の状況 ・・・ 30
- ◆ 公営企業の決算 ・・・ 31

4　市場公募債の発行計画

- ◆ 市場公募債の発行概要（令和8年度） ・・・ 33

お問い合わせ先 ・・・ 34



1 富山県のすがた

～ 富山県ってこんなところ ～

- 富山県の概要
- 富山県の魅力
- 数字で見る富山県
- 「北陸の十字路」～充実した交通網～
- 「北陸の十字路」～環日本海交流の拠点～
- 富山県の産業
- 産業の集積

富山県の概要

- 富山県は、南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置しています。三方を急峻な山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径50kmというまとまりのよい地形が特徴です。
- また、日本海側の中央に位置する本県では、アジア大陸や朝鮮半島など対岸諸国との古くからの交流の積み重ねを活かし、環日本海地域の中央拠点として、活発な取組みを展開しています。

人口
973,074人
令和8年9月1日現在

面積
4,247.60 ㎢
令和8年7月1日現在

県内総生産（名目）
5兆645億円
令和5年度



富山県の魅力①

- 富山県は、高低差約4,000mの**雄大な自然環境**とそれが生み出す**食文化**、**伝統芸能**など多彩な観光資源に恵まれています。







立山黒部アルペンルート ★★★

北アルプスを貫く世界有数の山岳観光ルート

（左）みくりが池、（右上）黒部ダム、（右下）立山ロープウェイ



黒部宇奈月キャニオンルート（2026年10月２日からツアー始動）

「黒部峡谷」と「立山黒部アルペンルート」を結ぶ新たな観光ルート

日経トレンディ2023年7月号「死ぬまでに行きたいインフラ」ランキングで**第１位**を獲得（第３位には本県「立山カルデラ砂防」もランクイン）



高岡市「瑞龍寺」 ★★

1997年に山門、仏殿、法堂が**国宝**指定

江戸初期の禅宗寺院建築として高く評価



高岡市「国定公園　雨晴海岸」 ★

富山湾越しに望む3000m級の立山連峰



南砺市「五箇山の合掌造り集落」 ★★★

1995年に**世界遺産**に登録

高岡市「勝興寺」

2022年に本堂、大広間及び式台が**国宝**指定

江戸後期を代表する大型真宗寺院



★は「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」の評価

富山県の魅力②



ベニズワイガニ



ブリ



越中八尾 おわら風の盆

気品高く、哀調の中に優雅な趣を有する唄と踊りが特徴

例年3日間で「約20万人」の観光客が訪れる



ホタルイカ



シロエビ



高岡御車山祭



城端曳山祭



寿司

SUSHI TOYAMA
寿司といえば、富山

「寿司といえば、富山」は、「寿司」をキーワードとして本県の認知度を高め、関係人口の創出・拡大により、地域産業の活性化・地域への自信や誇りの醸成を目指すプロジェクトです。



魚津たてもん祭り



新湊曳山祭

2016年に「高岡御車山祭」、「城端曳山祭」、「魚津たてもん祭り」、2025年に「新湊曳山祭」が山・鉾・屋台行事として、**ユネスコ無形文化遺産**に登録

数字で見る富山県

富山県

暮らし

持ち家率	<全国2位> (2025)
県民所得(1人あたり)	<全国9位> (2022)
有業率(15～64歳)	<全国2位> (2022)
生活保護率(低さ)	<全国**1位**> (2025)
出火率(低さ)(人口1万人あたり)	<全国**1位**> (2024)
道路整備率	<全国**1位**> (2024)
幼保連携型認定こども園就園率	<全国2位> (2025)

教育・文化

高等学校進学率	<全国4位> (2025)
大学等進学率	<全国17位> (2025)
大学入学共通テスト現役志願率	<全国6位> (2025)
市区町村立図書館数 (人口10万人あたり)	<全国7位> (2023)
博物館数 (人口100万人あたり)	<全国2位> (2021)

自然環境

保安林率　69.1%	<全国**1位**> (2024)
自然公園面積割合　29.6%	<全国6位> (2026)

名水：環境省が選定する「名水百選」と「平成の名水百選」合わせて8件は、熊本県とともに**日本一**

産業

医薬品生産額　6,335億円	<全国5位> (2024)
住宅用アルミニウム製サッシの全国シェア	<全国**1位**> (2024)
水田率　95.3%	<全国**1位**> (2025)
チューリップ球根出荷量　8,754千球	<全国**1位**> (2024)

幸福度ランキング　全国３位

（出典：「全４７都道府県幸福度ランキング2024年版」（一般財団法人日本総合研究所編））

「北陸の十字路」～充実した交通網～

富山県

- 富山県は、日本海側の中心に位置し、北陸新幹線、東海北陸自動車道、航空路（富山高山すし空港）などにより、東西南北の各県・地域を結ぶ要所にあり、さらには世界をもつなぐ、まさに**「北陸の十字路」**です。

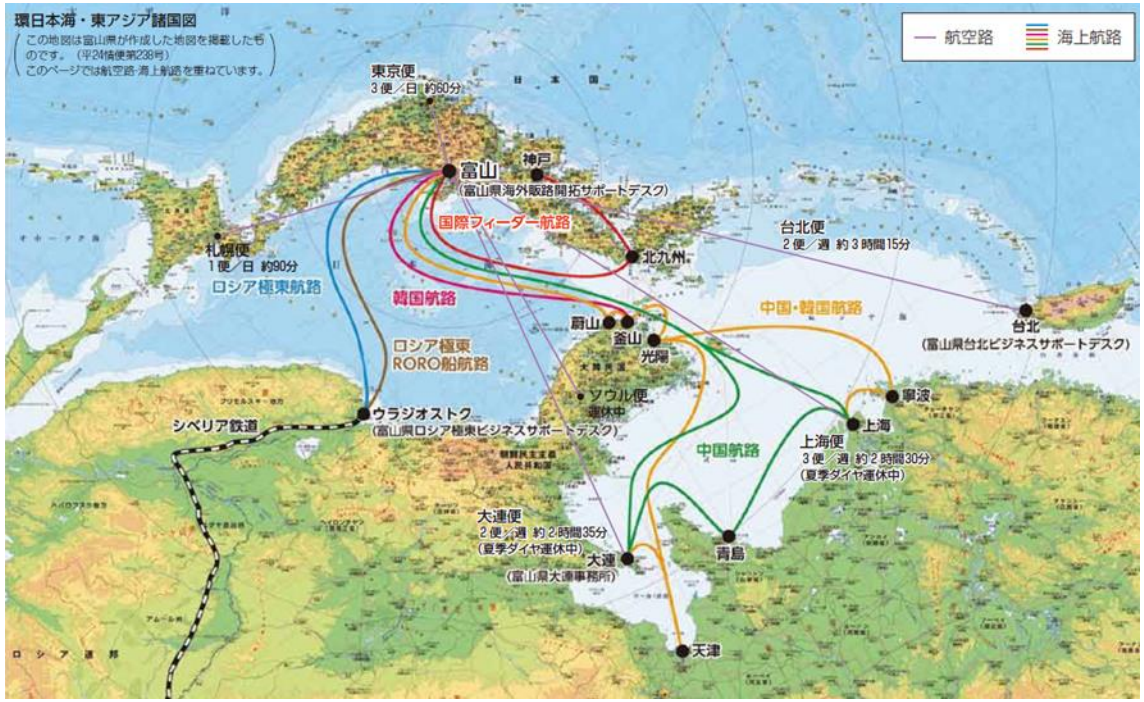


「北陸の十字路」～環日本海交流の拠点～

富山県

■ 富山県は、日本海を取り囲む環日本海交流圏の中心に位置しており、交流拠点として「富山高山すし空港」や「伏木富山港」から対岸諸国への航空路・航路が整備されています。

逆さ地図



この地図は富山県が作成した地図を転載したものです。

海上航路

富山 → ウラジオストク
コンテナ船（２便/月）
RORO船（14便/月）＜**全国最多**＞

富山 → 北九州→神戸（１便/週）

富山 → 釜山（4便/週）
富山 → 大連（２便/週）
富山 → 上海（２便/週）
富山 → 青島・天津（１便/週）

日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港

✓ 伏木富山港は、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾である「国際拠点港湾」に指定されており、環日本海交流の中核を担う国際貿易港です。

✓ 2011年11月には、日本海側の各港湾をけん引する「総合的拠点港」として国から選定されました。



各地にビジネス支援体制を整備

✓ 環日本海地域との交流の拠点として、2004年に中国大連市に**「富山県大連事務所」**を設置し、経済、観光、学術、文化など、様々な交流を支援しています。

✓ 各地に**ビジネスサポートデスク**を設置し、県内企業のグローバルな事業展開を支援しています。

- **ロシア極東**（2010年5月、ウラジオストク市）
- **バンコク**（2012年12月、タイ・バンコク）
- **台北**（2013年1月、台湾・台北市）
- **ホーチミン**（2022年10月、ベトナム・ホーチミン市）
- **インド**（2025年4月、ジェトロ富山事務所内）

富山県の産業

富山県

■ 富山県は、質の高い労働力、豊富な水、充実した交通網、ものづくりの伝統、**日本海側屈指の工業集積**など、優れた産業基盤があります。**「くすりの富山」**として知られる医薬品産業のさらなる発展や、新たな成長産業の育成・振興により、**「ものづくり県」**として一層の飛躍を目指します。

製造品出荷額等（2023）

北陸全体　　９兆９,８９８億円
うち富山県　４兆１,３３８億円（約４1%）

第二次産業への就業人口割合（2020）

全　国　２３．４%
富山県　３３．２%（全国トップ）

人口１人あたりの製造品出荷額等（2023）

全　国　３００万円
富山県　４１１万円

人口１人あたりの付加価値額（2023）

全　国　８９万円
富山県　１４１万円
※付加価値額＝生産額－（原材料使用額＋減価償却費＋内国消費税）

富山県製造品出荷額等の上位5業種

順　位	業　　種	金額（億円）
1位	化学	6,968
2位	非鉄金属	5,403
3位	金属製品	4,413
4位	生産用機械	4,141
5位	電子部品	3,264

- ✓ 大正時代より、豊富な水資源と低廉な電力を活用した化学や紡績産業が立地し、戦後は、新産業都市構想を背景に、アルミなどの金属や機械産業の集積が進みました。
- ✓ 近年、これらの古くからの企業が電子材料分野で新たに事業展開するとともに、県外からの企業の新規立地も進むなど、電子部品・デバイス・電子材料産業も盛んです。
- ✓ 現在、**日本海側でトップクラス**の工業集積を形成しています。

出典：総務省　経済構造実態調査（2023年実績）、総務省　人口推計（2023年10月現在）、
総務省　国勢調査（2020年）

産業の集積①

富山県

機械・金属産業の集積

戦前から蓄積された銅・鋳物の加工技術等を活かしたアルミ産業の集積が進んでおり、世界的なファスナーメーカーもあります。

また、技術力の高い機械関連企業や自動車産業を支える優良な部品メーカーが数多く立地しており、機械産業の盛んな中京・東海地域を結ぶ「東海北陸機械ロード」ともいうべき集積がみられます。

電子デバイス産業の集積

良質で豊富な水、自然災害の少なさ、交通の利便性といった、半導体等のデバイスメーカーが求める立地条件を十分に満たしています。

IT関連製造業では、グローバル製品に使用される基盤／素材、電装／機能部品などの部品・加工メーカーの集積が見られ、デバイスメーカーに対し、部品供給、加工等の素地が整っています。

富山県の機械・金属等関連企業（一例）

アイシン軽金属㈱
- 素材から加工・組付に至る総合技術で自動車部品を主力にアルミ製品を提供

㈱スギノマシン
- ウォータージェット等の「超技術」を追求
- 新工場「微粒テストセンター」が竣工（2021.5）

YKKグループ
- YKK AP　R&Dセンターを建設し、研究・開発・検証・試験の機能を集結
- 黒部事務所に本社機能の一部を移転

キタムラ機械㈱

コマツNTC㈱

三協立山㈱

CKサンエツ
- **サンエツ金属㈱**
- **シーケー金属㈱**

田中精密工業㈱

富山住友電工㈱

㈱不二越

富山県の電子デバイス関連企業（一例）

タワーパートナーズセミコンダクター㈱
- 主にアナログ半導体の受託製造
- 魚津市において光通信用半導体の開発・製造拠点となる新工場を建設予定（2029.1 生産開始予定）

㈱KOKUSAI ELECTRIC
- 世界トップレベルの成膜技術を活かした、半導体製造装置を生産
- 砺波市において新工場(砺波事業所)が竣工（2024.10）

㈱SCREEN SPE ワークス
- 半導体製造の洗浄工程で世界トップシェアを誇るウェーハ洗浄装置を製造
- 高岡市において「半導体製造装置工場」が竣工（2023.8 ）

SMK㈱

コーセル㈱

タカノギケン㈱

住友電気工業㈱

立山科学㈱

㈱富山村田製作所

日本カーバイド工業㈱

日本ゼオン㈱

産業の集積②

医薬品産業の集積「薬都とやま」

富山県は、2024年の医薬品生産金額が全国5位の6,335億円であるほか、人口１人あたり医薬品生産金額では**全国１位**となっています。

また、富山県には、**100を超える製造所**と**容器・包装・印刷などの周辺産業**が集積しており、医薬品の製造拠点として高い評価を得ています。

産学官の連携

医薬品分野の研究開発や人材育成等を推進し、中核的産業である医薬品産業のさらなる発展を図るため、産学官連携により、2018年6月に**「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム**を設立しました。

本コンソーシアムでは、富山県薬業連合会、富山大学、富山県立大学、富山県薬事総合研究開発センターの産学官が中心となり、研究開発等を進めるとともに、「くすりの富山」を支える専門人材の育成・確保に取り組んでいます。

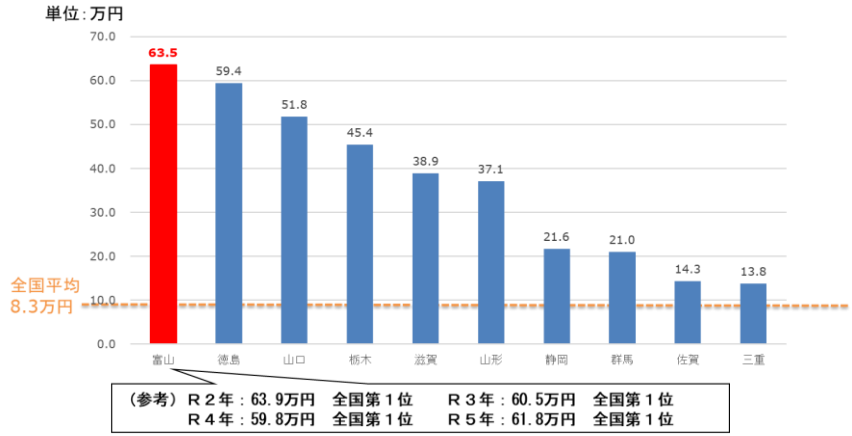


創薬研究開発センター

■ **富山県薬事総合研究開発センター**

都道府県立では唯一の薬事に関する開発型研究機関であり、免疫をターゲットとした革新的な医薬品の開発や、一連の製剤機器や高度な分析器等の配備により、人材育成や新製品の開発を全面支援（2018年4月に「薬事研究所」を「薬事総合研究開発センター」に抜本的に改組し、この下に「創薬研究開発センター」、「製剤開発支援センター」、「薬用植物指導センター」を設置）

医薬品生産金額（人口1人当たり）



［薬事工業生産動態統計年報（2024）、人口推計（2024）を基に作成］

富山県の医薬品関連企業（一例）

富士フイルム富山化学㈱

- 約600億を投じて、国内最大級のバイオ医薬品CDMO工場を竣工（2025.12）。2027年稼働開始予定

日東メディック㈱

- 点眼剤などの無菌製剤の製造
- 約80億円を投じて、新たな物流拠点である「医薬品開発・流通センター」を着工（2026.9）

東亜薬品㈱

- DPI製剤をはじめとする様々な医薬品を製造
- 一般固形製剤の受託製造を目的とした「第３製剤棟」を着工。2027年11月竣工予定

アクティブファーマ㈱
アステラス製薬㈱
㈱池田模範堂
㈱大塚製薬工場
クラシエ製薬㈱
テイカ製薬㈱
富山小林製薬㈱
ユースキン製薬㈱
リードケミカル㈱



2 富山県のビジョン

- 新たな総合計画の策定
- 「ウェルビーイング指標」
- SDGsに関する取組み
- 令和６年能登半島地震からの復旧・復興

新たな総合計画の策定 ①

富山県

- 富山県では、概ね10年後の将来像を見据え、その実現に向けた５年間の主要な施策を示す「総合計画」を令和７年12月に策定しました。

詳しくはこちらから

総合計画

基本理念　「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」



- 富山県を取り巻く環境が変化する中、「数」や「量」を重視した従来型の発展モデルは転換期を迎えており、これからは一人ひとりの幸せ、生活や人生の「質」をより重視し、県民のウェルビーイングを高めていくことが重要です。
- 人口減少下でも富山県が持続的に発展していくために、「富山が好き」「富山は心地いい」と思う富山のファンを日本中・世界中に増やし、交流し続けることで、新たな視点や多様な活力を取り込んでいきます。
- 雄大な自然、おいしい水や食、豊かな伝統文化…「幸せの基盤」が揃う富山県。ここで暮らす人、仕事をする人、よく訪れる人など、愛着を持って関わる全ての人たちと共に、「幸せ人口」を増やし、「ウェルビーイング先進地域」の実現を目指します。

新たな総合計画の策定 ②

富山県

みんなで目指す「とやま2035」～10年後の将来像～

とやま2035
幸せ人口1000万
～ウェルビーイング先進地域、富山～

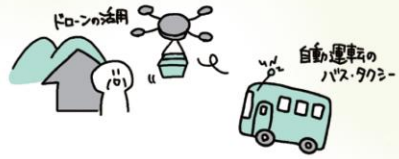
安全・安心で、豊かに暮らせる



県土の強靭化、災害への備えや食の安全保障の強化、犯罪の抑止などにより、安全・安心が高まる



地域で支え合いながら、必要な医療、介護、福祉サービスを安心して受けられる



自動運転やドローン等を活用し、どこに住んでいても、便利で豊かに暮らせる



スタートアップや新たな産業が生まれ、富山発のブランドやサービスが全国・海外へ
産業の垣根を超えた企業間連携により、地域の経済・価値が循環、発展

選択肢があり自分の未来を描ける



全てのこどもたちが、安心して学び、遊び、夢を育める

アイデアが形になり稼げる

製造業など各産業分野において、AIやロボット等が活用され、生産性が向上し、さらに成長、発展



AIなど最先端の技術と自然の恵みを融合させた夢と希望のある農林水産業に

人と人がつながり選ばれる



誰もが個性や能力を発揮し、いきいきと活躍できる



国内外の多様な人材が富山に引き寄せられ、住民との緩やかなコミュニティの中で、空き家も活用しながら、新たな出会いや交流、チャンスを創出



美しい自然や田園風景、祭り、伝統文化、スポーツチームなど地域への誇り・愛着を持つ人が増え、協力して地域の魅力を継承、発展

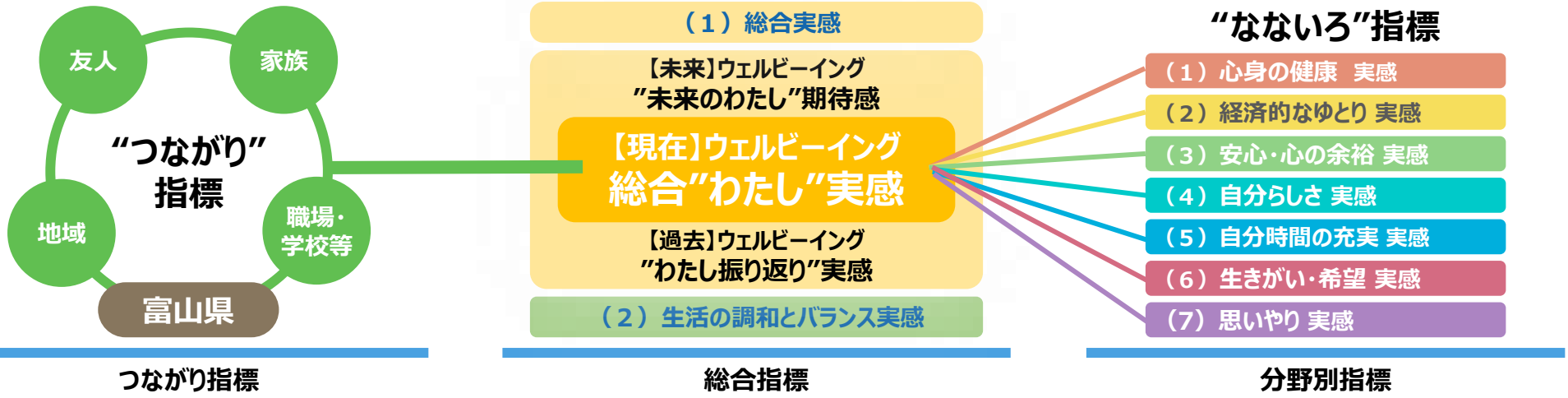
「ウェルビーイング指標」

富山県

■ 「富山県成長戦略」の中心に掲げるウェルビーイングに関し、令和４年９月に実施した県民意識調査の結果等を踏まえ、**主観的な要素からなる本県独自の指標を策定（令和５年１月）**しました。

ウェルビーイング指標の体系

10指標・・・総合２指標、分野別７指標、つながり指標

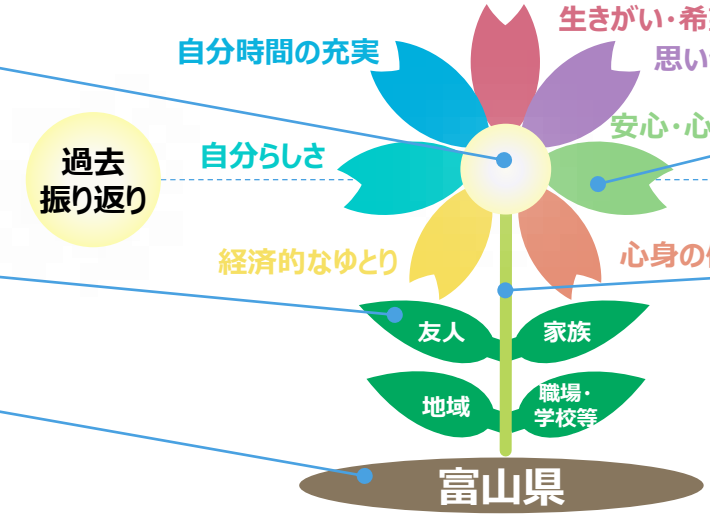


ウェルビーイング指標の全体像・・・状態を花に見立てて視覚的に表現

（中心）
総合”わたし実感”指標

（葉）
”つながり”指標
（家族、友人、職場・学校等、地域）

（土）
”つながり”指標（富山県）



（花びら）
”ないろ”指標

（茎）
生活の調和とバランス

※それぞれの形の大きさで数値の大きさを表現

本県の特設サイトでウェルビーイングを発信中
（ご自身のウェルビーイングをチェックできるコンテンツあり）

SDGsに関する取組み

富山県

■ 本県は、「**SDGs未来都市**」として、「**富山県SDGs未来都市計画**」（現在第３期：2025年～2027年）を策定し、SDGsの取組みを推進しています。

将来ビジョン

『環日本海地域をリードする「環境エネルギー先端県とやま」』

- ✓ 世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
- ✓ 「富山県物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県

SDGs推進に向けた県の取組み

- ✓ SDGs推進に向けた取組みを環境・経済・社会の三方面から統合的に推進
- ✓ SDGsの普及啓発・ステークホルダーとの連携を促進
- ✓ 県民総参加のSDGsを推進するため、将来の担い手である高校生・大学生などのSDGs達成に向けた理解醸成

カーボンニュートラルへの取組み

- ✓ 令和5年3月に「**富山県カーボンニュートラル戦略**」を策定し、カーボンニュートラルと持続可能な成長との両立を目指し、様々な施策を実施

これらの施策を加速化させていくための
資金調達を目的に、昨年度に引き続き
「**グリーン共同発行市場公募地方債**」を
発行（本県発行額20億円）

令和６年能登半島地震からの復旧・復興

富山県

ビジョン

Build Back Better !!

富山県の一日も早い復旧・復興によって北陸エリア全体の復興へ

富山県復旧・復興ロードマップ（中間とりまとめ）【令和６年３月27日策定】

基本的な考え方

- 復旧・復興の全体像やタイムスケジュールを「見える化」し、県民や事業者の安心な暮らしや事業活動を後押し
- 被災現場の課題・ニーズをきめ細かく捉えて随時アップデート

令和８年度までの概ね３年間の取組みを示し、市町村と連携のもと、県民・事業者の協力や全国の自治体の応援もいただきながら、**早期復旧・復興に全力で取り組む**

※死者（災害関連死）・負傷者のほか、液状化等により多くの家屋被害・公共インフラ施設等に**深刻な被害**が発生



倒壊した家屋（氷見市）



崩落した国道359号（小矢部市）

５つの柱と対応項目

Ⅰ くらし・生活の再建

1 住宅の復旧・復興
2 被災者の生活支援
3 災害廃棄物処理支援
4 医療・福祉提供体制の構築支援
5 被災者の健康管理
6 被災市町村への応援
7 被災地の防犯対策強化

Ⅱ 公共インフラ等の復旧

8 公共土木施設の復旧
9 水道の復旧
10 交通インフラの復旧
11 農林水産業施設の復旧と経営支援
12 文教施設・文化財の復旧
13 県行政施設の復旧等

Ⅲ 地域産業の再生

14 中小企業等の生業支援
15 地域経済の復興
16 観光関連産業の支援
17 農林水産業施設の復旧と経営支援【再掲】

Ⅳ 北陸全体の復興に向けた連携

18 広域避難者の生活再建への支援
19 石川県での各活動の支援
20 地域経済の復興【再掲】
21 北陸地域の観光復興に向けた連携

Ⅴ 地域防災力の向上

22 災害対応の検証と地域防災計画の見直し
23 自助・共助による災害対応の促進
24 避難所の生活環境向上と運営体制強化
25 県の災害対応力向上

3 富山県の財政状況

- 令和８年度一般会計予算
- 普通会計決算
- 県税収入
- 県債発行額
- 県債残高
- 基金残高
- 県庁活性化・未来共創の取組み（令和８年度）
- 主な財政指標の状況
- 地方公会計に基づく財務諸表の状況
- 公営企業の決算

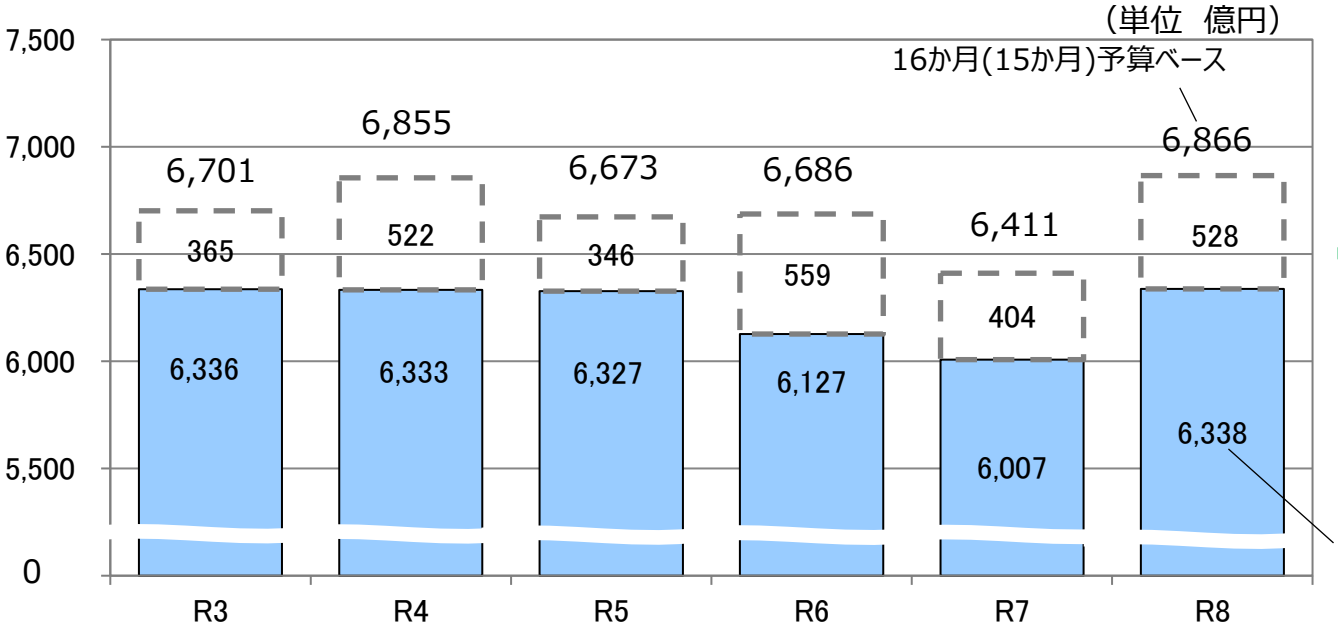
令和８年度一般会計予算

富山県

令和８年度一般会計当初予算額　6,338億1,538万円

令和7年度11月補正予算、2月補正予算を含めた16か月予算ベースでは　**6,866億70万円**

（追加提案のうち給与費除く392億円）　（2月議会冒頭提案136億円）



「『人×経済』の両輪で富山県を前へ！」

※ 詳細は　令和8年度富山県予算　検索

１.能登半島地震からの復旧・復興の加速化（31億円）

- ○ 避難所の環境改善
- ○ 体制構築・人材育成 等

２.「人材確保・活躍の富山モデル」構築に向けた取組み

- ○ 人材確保
- ○ 働き方改革
- ○ 人材育成
- ○ 省力化・省人化

３.　総合計画の推進（125億円）

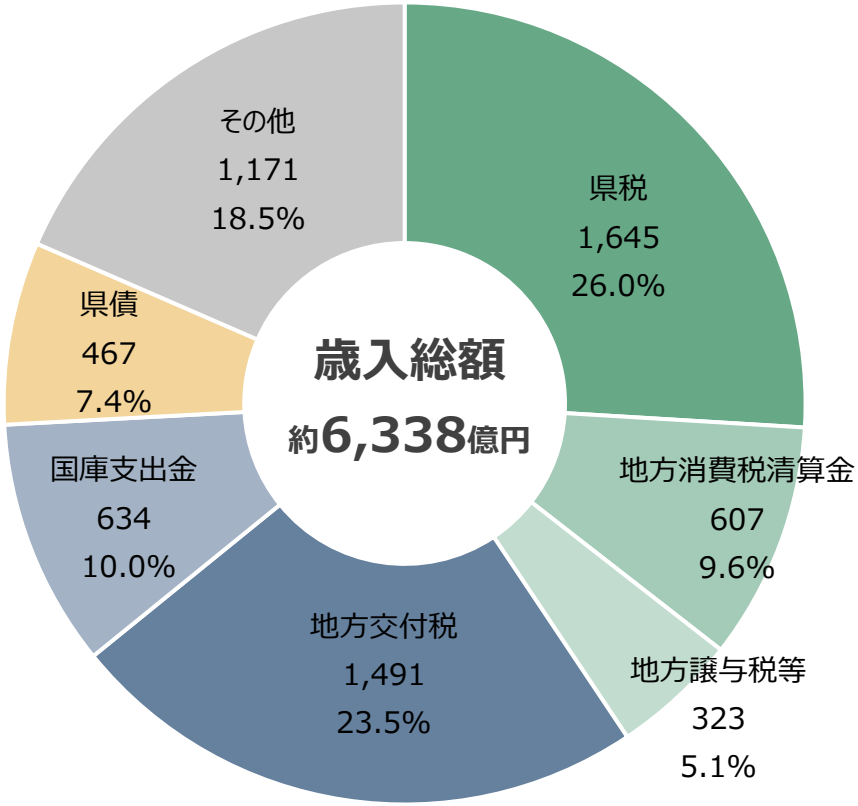
- ○ 人口減少に適応しながら、ピンチをチャンスに変えるリーディング事業
- ○ 総合計画の着実な実行に向け、12の政策分野の事業を体系的に展開

令和８年度一般会計予算　～歳入・歳出の内訳～

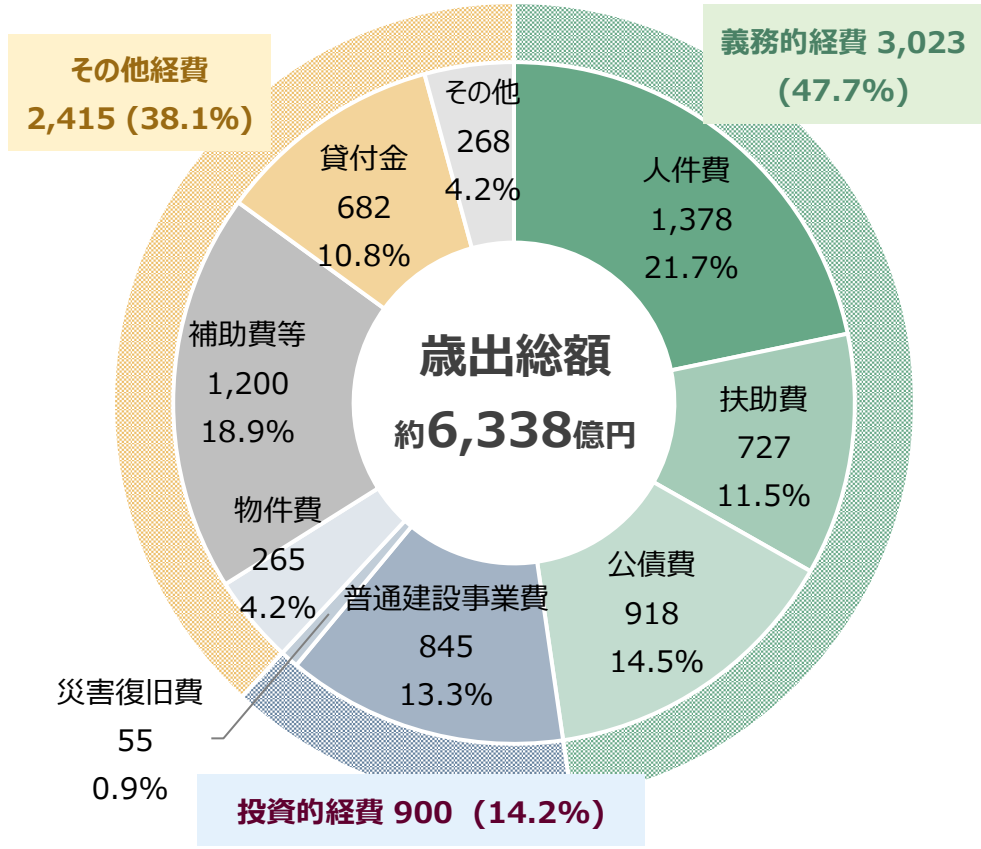
富山県

- 歳入のうち、県税が全体の約1/4を占め、次いで地方交付税、諸収入、国庫支出金の順となってます。
- 歳出のうち、高齢化の進展による社会保障費の増大や、こども政策の充実等に伴う扶助費の高まりにより、「義務的経費」が約５割を占める中、メリハリの効いた行財政運営に努めています。

歳入（令和８年度一般会計予算）



歳出（令和８年度一般会計予算）



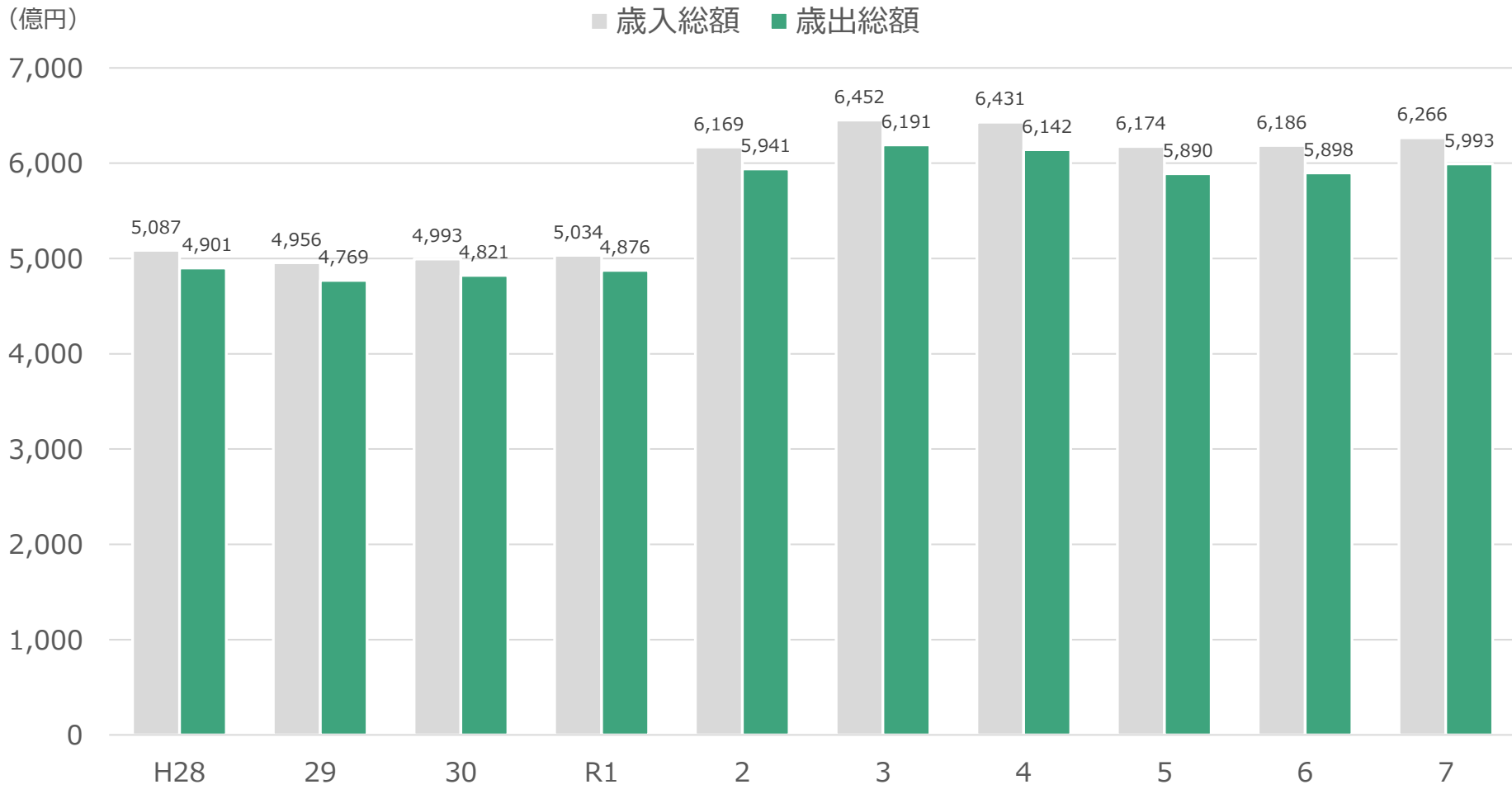
（金額単位　億円）

歳入・歳出決算の推移（普通会計）

富山県

■ 令和２年度以降、国交付金等を活用し新型コロナ対策や物価高騰対策、震災からの復旧等に積極的に取り組んできた結果、歳入・歳出ともに大幅に増加、令和５年度において微減するも、引き続き同程度の規模となっています。

普通会計　歳入歳出の推移

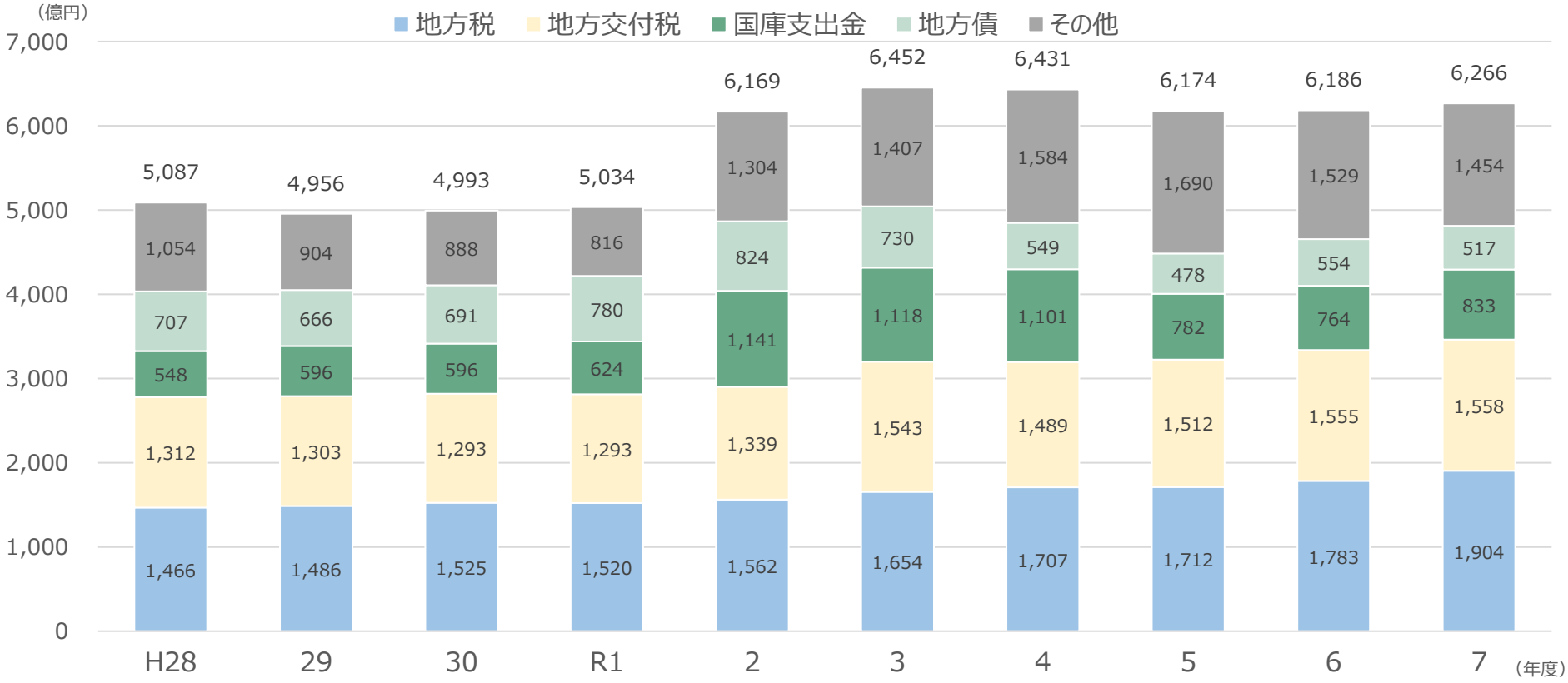


歳入決算の内訳（普通会計）

富山県

- 新型コロナ対応のための国庫支出金が大幅に増加した令和２～４年度を除き、地方税及び地方交付税の合計で概ね５割以上を確保しています。
- 令和７年度は、県税や地方交付税が増加したことに加え、物価高騰への対応に伴う国庫支出金が増加したことなどにより、２年連続の増加となりました。

普通会計　歳入決算の内訳

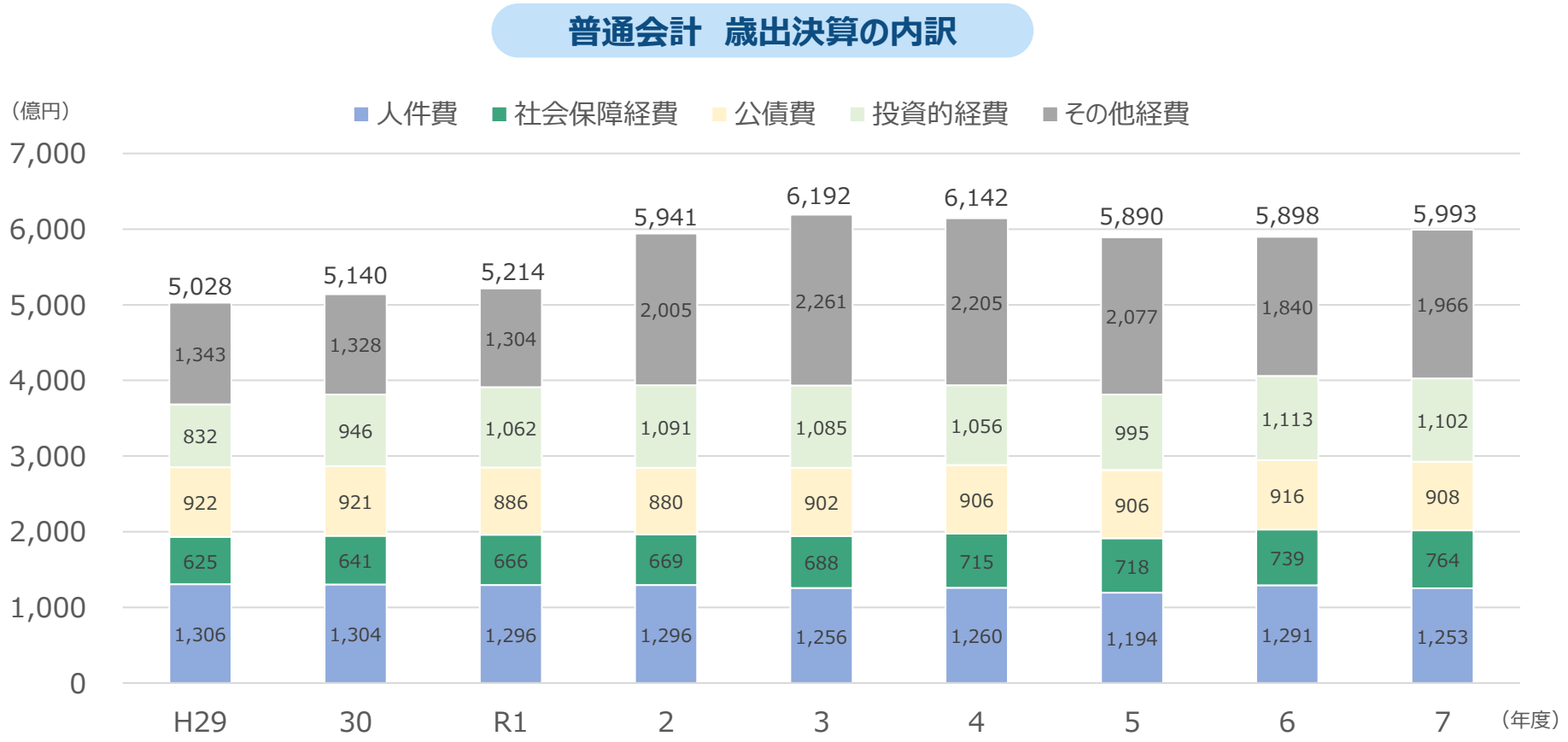


- 地方税は、堅調な企業収益による法人事業税の増等により増加
- 歳入全体に占める自主財源の割合は約５割

歳出決算の内訳（普通会計）

富山県

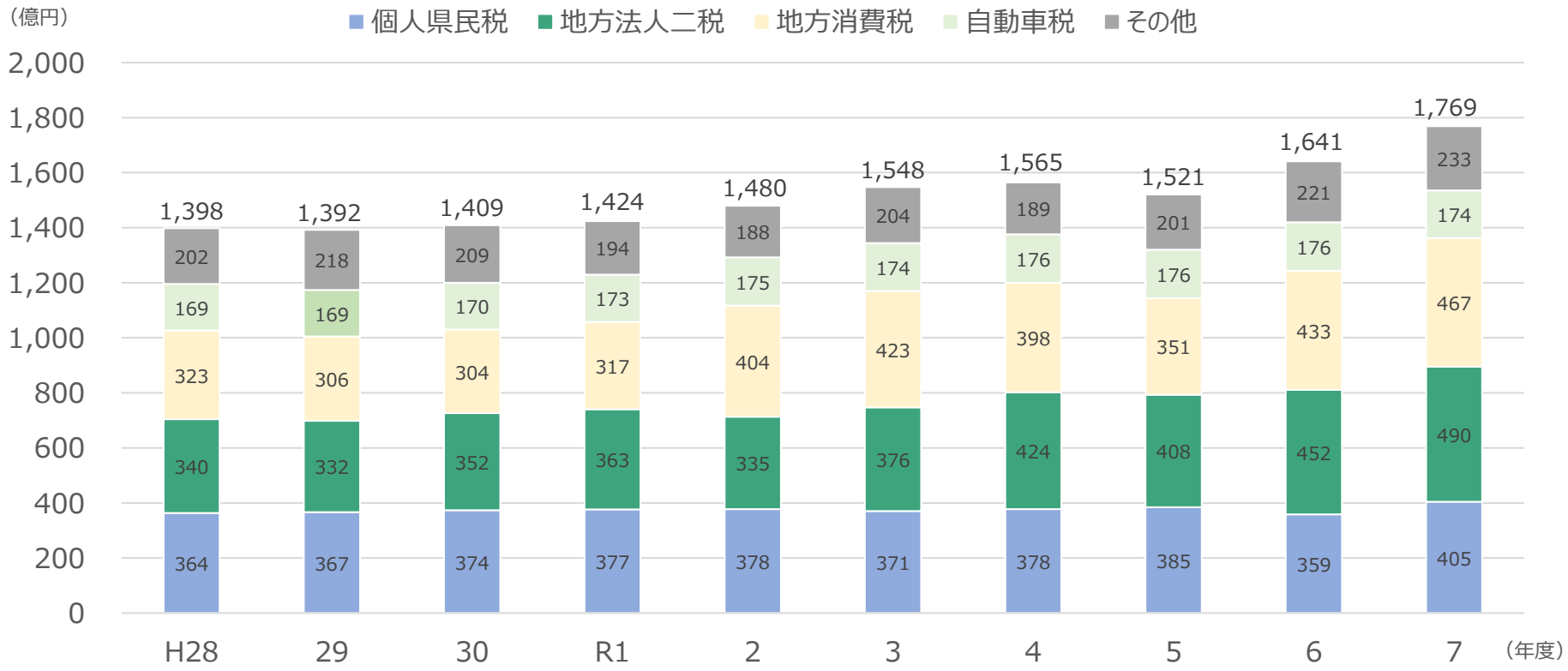
- 人件費は減少傾向にある一方、社会保障関係費や、近年の防災・減災対策の強化等により投資的経費が増加傾向にあります。



県税収入の推移

■ 堅調な企業収益や消費税率の引上げを背景に、高い水準で推移しています。

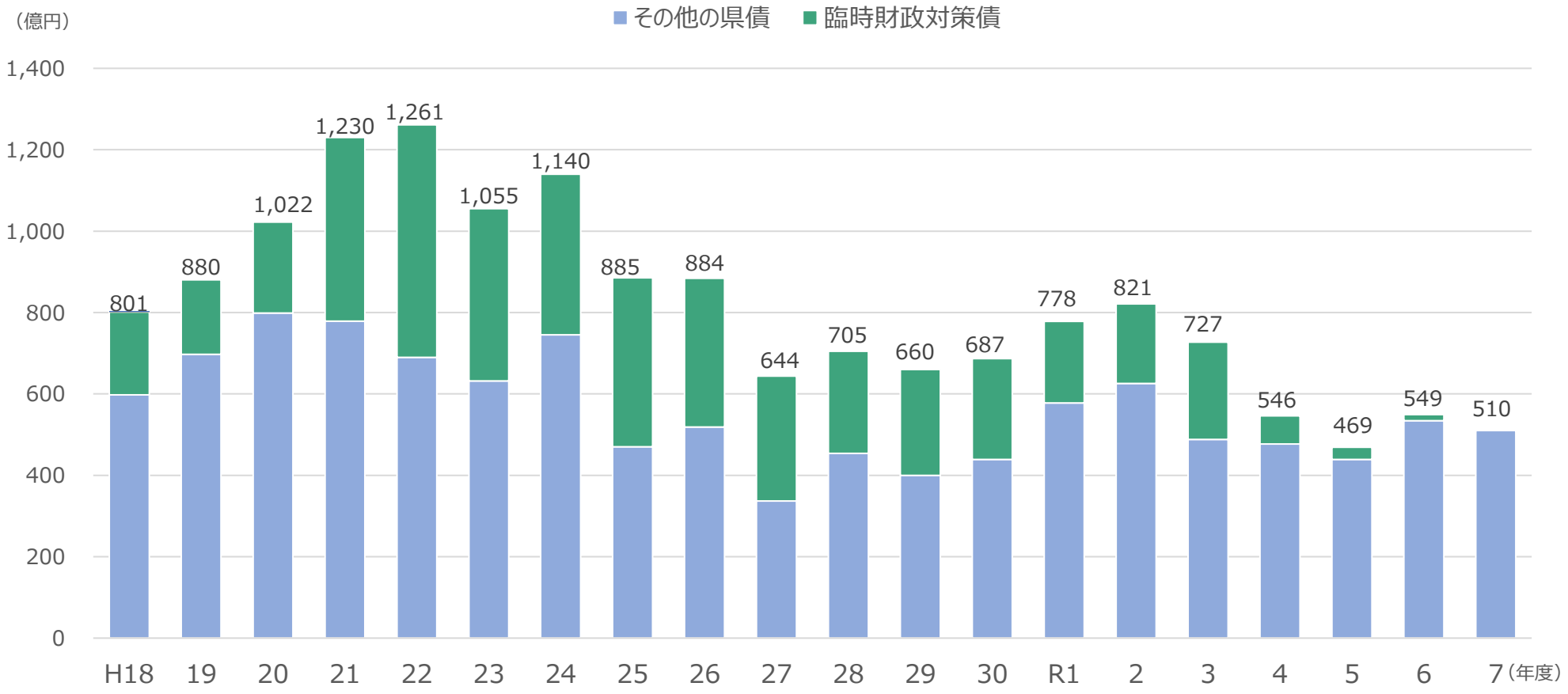
県税収入の推移 ※決算ベース



県債発行額

■ 県債の新規発行額については、災害復旧や国の補正予算に対応した防災・減災対策などにより変動はありますが、近年は、臨時財政対策債の減少等もあり、概ね減少傾向にあります。

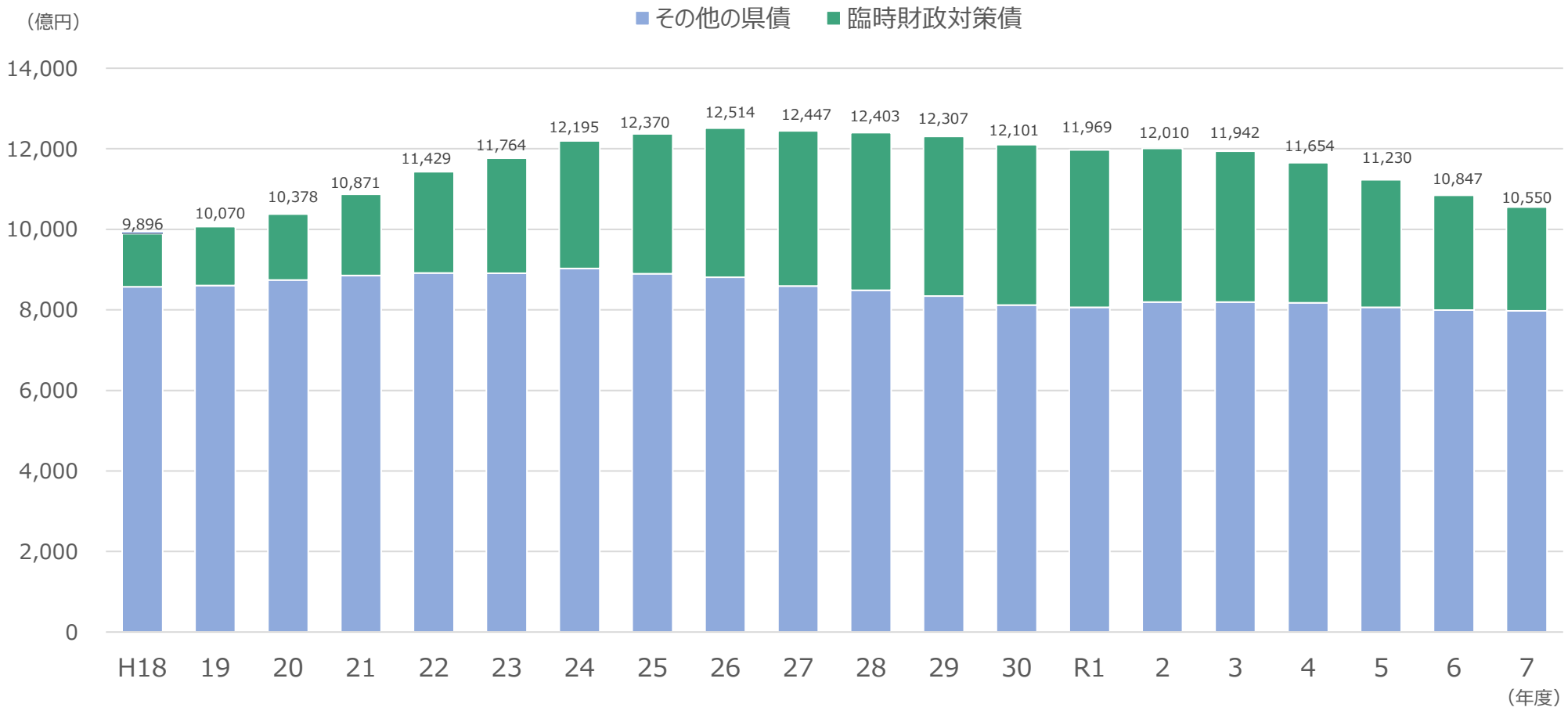
県債発行額の推移



県債残高

■ 県債残高については、平成26年度をピークに臨時財政対策債の発行額減少などにより減少傾向にあります。

県債残高の推移（一般会計）

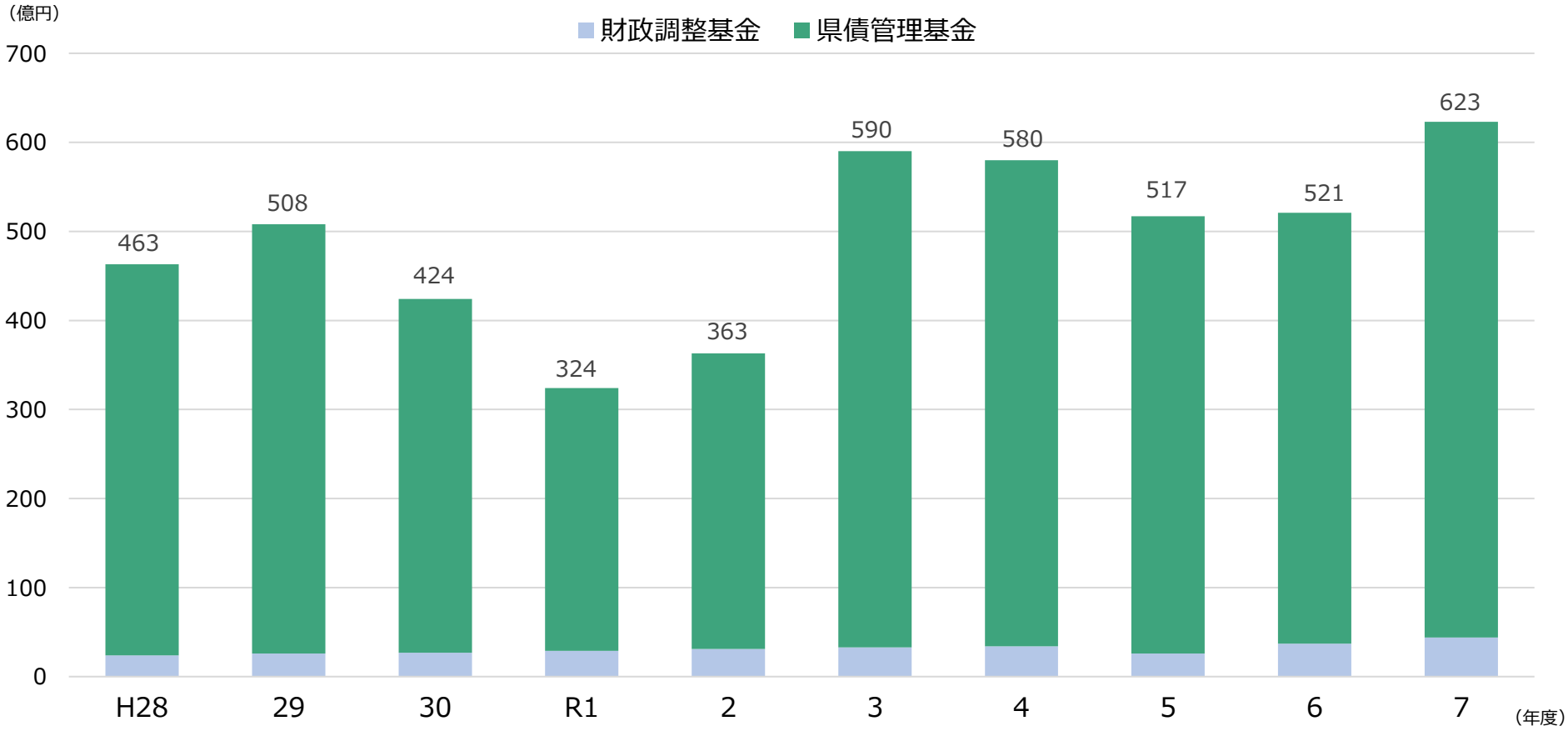


基金残高（財政調整基金・県債管理基金）

富山県

■ 景気動向や大幅減収への対応、災害時への備えとして、必要な残高の確保に取り組んでいます。近年、満期一括償還発行割合の増加傾向に伴い、計画的な償還に備え、残高も増加傾向にあります。

財政調整等のための基金残高の推移



県庁活性化・未来共創の取組み（令和８年度）

富山県

官民連携・民間活力の活用

- 富山空港の民間事業者による運営開始（令和８年４月～）
- 県有施設へのネーミングライツの導入
- 指定管理者制度における賃金・物価スライドの導入

市町村との連携

- 県民に必要な行政サービスを市町村と連携し、提供し続けるための検討・取組み

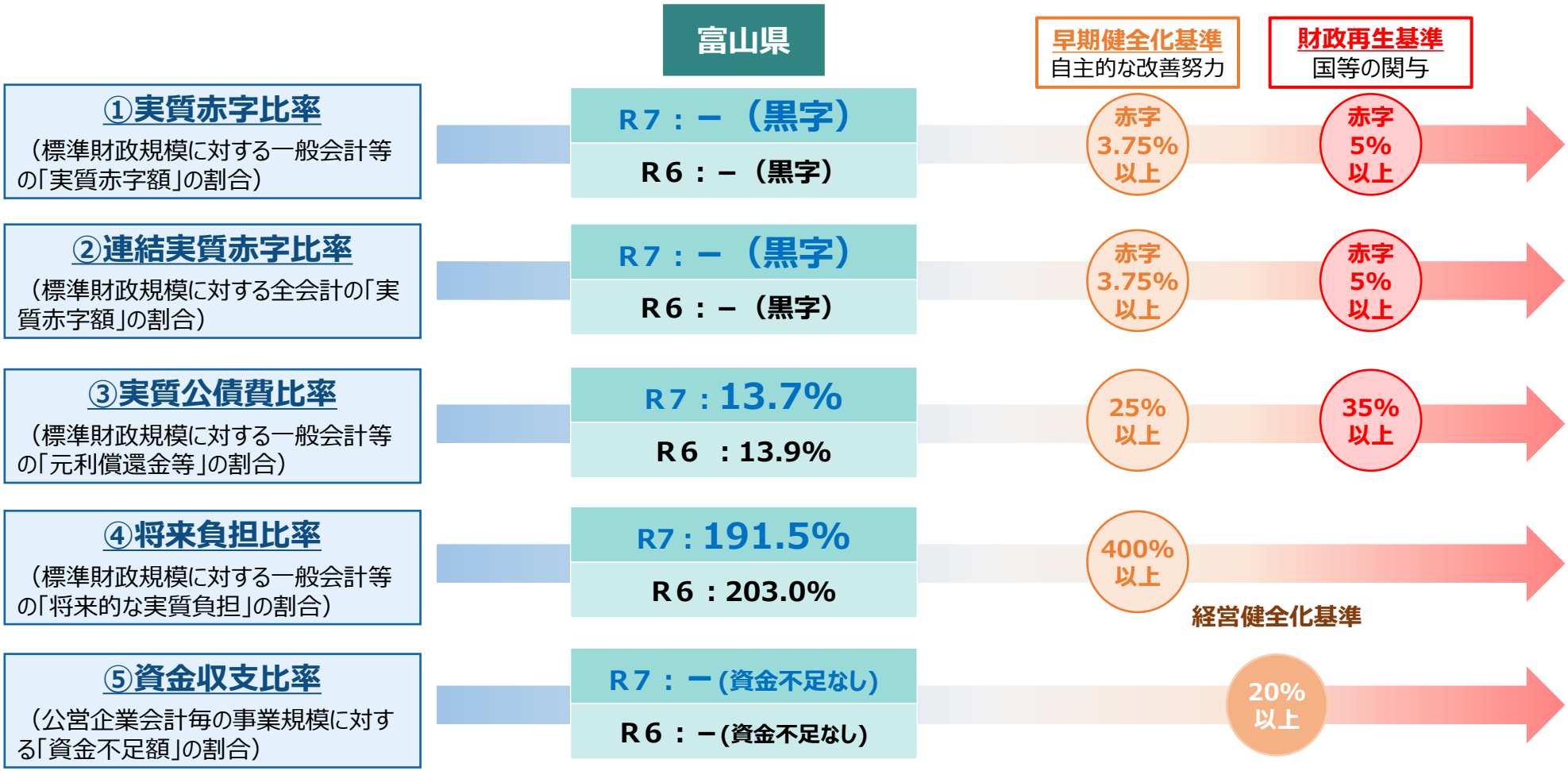
・人口減少社会に適応するため、持続可能な行政サービスのあり方を、県民目線・未来志向で引き続き検討
・土木インフラについては、ワーキンググループを設置し、道路・橋を中心に「持続可能なインフラマネジメント方針」を議論
・公共施設については、県公共施設等総合管理方針を改訂し、削減目標等を明記
・県内初の「群マネ（地域インフラ群再生戦略マネジメント）」を試行
・県農業職と市町村職員との協働・働き方改革を試行
・市町村のDXの取組みを進め、県民の利便性向上を図るため、県において、市町村に巡回配置する専門的なデジタル人材を確保
・富山県内で行政サービスの担い手として働く魅力を効果的にアピールするため、県・市町村合同で採用説明会を開催

県民目線での政策形成・執行、県民参画による行政の推進

- 「幸せ人口1000万実現会議」の開催
- ウェルビーイング指標を活用した総合計画に基づくＰＤＣＡサイクルの確立
- 伝える広報のさらなる推進
- 令和８年度官民協働事業レビューの実施

主な財政指標の状況

■ 財政健全化法に基づく財政指標①～⑤については、早期健全化基準を大きく下回っています。



- 「標準財政規模」：各地方公共団体において経常的に収入されるであろう一般財源の規模
- 「一般会計等」　：一般会計及び１１の特別会計（公債管理特別会計など）
- 「公営企業会計」：病院事業会計をはじめとする８の特別会計

地方公会計に基づく財務諸表の状況（令和６年度決算）

富山県

■ 総務省の「統一的な基準」に基づき財務諸表等を作成・公表しています。

貸借対照表（一般会計等）

（億円）

資産の部	金額
有形固定資産	12,397
無形固定資産	52
投資その他の資産	1,686
流動資産	501
資産合計	14,636

負債の部	金額
固定負債（地方債）	9,575
固定負債 退職手当 引当金等	1,012
流動負債	1,416
負債合計	12,003

純資産の部	金額
固定資産等形成分	14,249
余剰分（不足分）	▲11,616
純資産合計	2,633

負債・純資産合計	金額
	14,636

行政コスト計算書（一般会計等）

（億円）

経常費用	金額
人件費	1,225
物件費等	1,346
移転費用	2,680
その他	471
経常費用計	5,722

臨時損失	金額
災害復旧事業費	122
資産除売却損	2
投資損失 引当金繰入額	0
臨時損失計	124

経常収益	金額
使用料及び手数料	89
その他	187
経常収益計	276

臨時利益	金額
資産売却益	8
その他	2
臨時利益計	10

純経常行政コスト	金額
	5,446

純行政コスト	金額
	5,560

公営企業（法適用）の決算

富山県

■ 全ての事業において資金不足が発生していません。

（百万円）

事　業	R7				R6			
	総収益	総費用	純利益	資金剰余額	総収益	総費用	純利益	資金剰余額
病院事業	32,947	34,512	▲1,565	4,537	31,171	32,877	▲1,706	3,608
電気事業	5,057	4,665	392	11,714	4,330	4,816	▲486	12,462
水道事業	1,622	1,427	195	2,764	1,549	1,463	86	2,922
工業用水道事業	2,229	1,756	473	4,684	2,293	1,846	447	4,080
地域開発事業	65	21	44	18	64	36	28	10
流域下水道事業	7,374	7,152	222	463	7,476	7,263	213	403

病院事業

県立中央病院、県リハビリテーション病院・こども支援センターの経営

電気事業

井田川・小矢部川・常願寺川水系等の発電所における水力発電事業

水道事業

県東部・西部における各市町村への水道用水供給事業

工業用水道事業

県西部、八尾中核工業団地、利賀川における工業用水供給事業

地域開発事業

富山市内中心部における駐車場事業

流域下水道事業

小矢部川及び神通川左岸流域における、複数の市町村区域にわたる下水道事業

4 市場公募債の発行計画

- 市場公募債の発行概要（令和８年度）

市場公募債の発行概要（令和８年度）

富山県

全国型市場公募地方債（予定）

発行額　：　100億円　　**発行時期**：　令和８年11月

償還方法：　満期一括償還　　**償還年限**：　10年

引受シンジケート団（予定）

R8.10.28現在

銀　行　団

株式会社 北陸銀行（代表受託行・幹事）
株式会社 みずほ銀行（副受託行・幹事）
株式会社 富山第一銀行
株式会社 富山銀行
富山信用金庫
高岡信用金庫

証　券　団

野村證券 株式会社（幹事）
大和証券 株式会社
SMBC日興証券 株式会社
みずほ証券 株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 株式会社

グリーン共同発行市場公募地方債

発行額　：　352億円（うち本県発行額20億円）　**発行日**：　令和８年９月30日

償還方法：　満期一括償還　　**償還年限**：　10年

お問い合わせ先

富山県 経営管理部 財政課

〒930-8501　富山市新総曲輪1-7

Tel:　076-444-3167　　Fax:　076-444-3485

富山県HP　　富山県公式ウェブサイト (pref.toyama.jp)



本資料は、富山県債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、本県の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売出し又は募集を意図するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、修正する場合があります。

富山県

Toyama Prefecture